

## はじめに

少子高齢化、人口減少社会を迎え、私たちを取り巻く環境は近年大きく変化し続けており、人々の価値観や生活スタイルも多様化しています。

このような変化に対応しながら、地域や社会の活力を高め、持続的な発展を図っていくために、性別に関わりなく誰もが個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現が求められています。



国では、令和2年12月に閣議決定した「第5次男女共同参画基本計画」で、

- ①男女が自らの意思に基づき、個性と能力を十分に発揮できる、公正で多様性に富んだ、活力ある持続可能な社会
  - ②男女の人権が尊重され、尊厳を持って個人が生きることのできる社会
  - ③仕事と生活の調和が図られ、男女が共に充実した職業生活、その他の社会生活、家庭生活を送ることができる社会
  - ④あらゆる分野に男女共同参画・女性活躍の視点を取り込み、SDGsで掲げられている包摂的かつ持続可能な世界の実現と軌を一にした取組を行い、国際社会と協調する社会
- の4つを目指すべき社会として提示し、その実現を通じて男女共同参画社会形成の促進を図っています。

本市においては、平成26年2月に策定した「第2次小郡市男女共同参画計画」により、「性別に関わらず全ての人の人権が尊重され、男女がともに参画するまちづくり」を推進してきました。しかし、根深く残る固定的性別役割分担意識や無意識の思い込み、増加傾向にある配偶者・パートナーからの暴力、政策・方針決定過程における女性の参画など課題が残っています。

新たな計画では、これまでの取組みや社会環境の変化、市民意識調査や関係団体ヒアリングなどを踏まえ、今後10年間に取り組む3つの基本目標とその実現を進める具体的施策を定め、性別に関わらず、市民一人ひとりが個性や能力を十分発揮できるまちづくりを進めます。

この計画を着実に推進するためには、行政だけでなく、市民や事業者、関係団体などの皆さまとの連携・協力が不可欠です。より一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後に計画の策定にあたり、ご提言をいただいた小郡市男女共同参画社会推進審議会委員の皆さまをはじめ、多くの貴重なご意見をいただきました市民の皆さま、関係団体の皆さまに心から感謝申し上げます。

令和6年3月

小郡市長 加地良光